

--	--	--	--	--

関係部署に回覧をお願いします。

各 位

「建設コンサルタンツ協会CPD認定プログラム」(6単位)

「測量系CPD学習プログラム」(6単位)

「土木施工管理CPDS認定講習」(6ユニット)

— 現場運営と技術スキルの向上のために —

「建設技術者のための現場必携手帳」解説講習会

開催のご案内

開催日：2019年7月23日(火) 9:30～16:30

会場：(株)長水建設会館 大会議室
長野県長野市岡田124 TEL 026-227-6226

主催：一般社団法人 長野県建設業協会
長野県土木施工管理技士会
一般財団法人 経済調査会

講習会の開催にあたって

一般財団法人 経済調査会

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当会の諸事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当財団では来る7月23日(火)、長野市において、現場運営と技術スキル向上のための講習会を開催することといたしました。こちらの講習は神奈川県、山梨県、茨城県、千葉県でも開催させて頂き、好評価を頂いている講習会となります。

今後、社会資本の維持、整備等をはじめとする建設投資の拡大が見込まれる中、技術者不足が懸念され、さらに、経験の少ない若年技術者に現場の運営を任せなければならない場合も考えられます。

このような状況を踏まえて、現在、現場の第一線で指揮を取られている現場管理・技術に精通した講師を迎え、現場運営・原価管理・技術スキルの向上などについて「**建設技術者のための現場必携手帳**」を用いて解説するとともに、コンクリート標準仕方書、道路土工各指針、道路橋示方書・同解説などから、現場管理で使用する管理値を示し、PC・スマホ・タブレットで確認できる手順をお伝えします。

さらに、1級土木施工管理技士の実地試験対策としての参考書としての活用についてもお話をいたします。

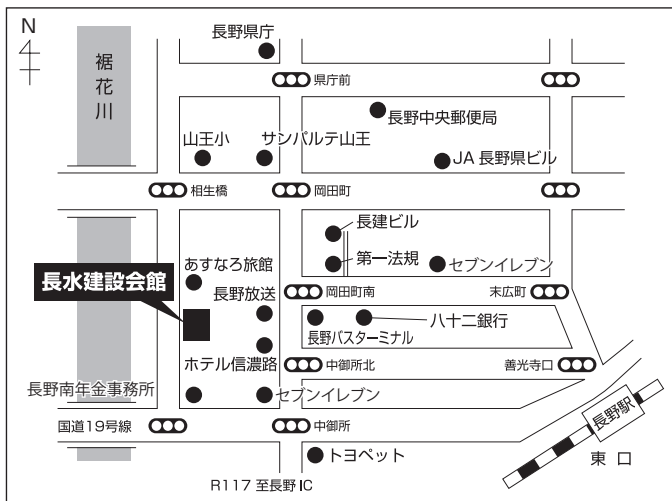
現場管理のスキルアップを目的とし、今一度現場管理能力を見直すという観点から捉えていただき、今後の日常業務にぜひお役立ていただきたくご受講を検討いただければ幸甚に存じます。

謹白

開催要領

- ◆開催日時 2019年7月23日(火) 9:30～16:30
- ◆会場 (株)長水建設会館 大会議室
長野県長野市岡田町124 電話：026-227-6226
- ◆講師 坂田建設株式会社 土木本部長 鈴木 正司
- ◆受講料 8,000円
- ◆図書テキスト **特別価格 2,900円(定価 2,916円)**
※下記図書で講習を進めて参ります。お持ちの方は当日必ずご持参ください。
<使用テキスト> 「建設技術者のための現場必携手帳」
(平成29年6月発刊)
- ◆募集定員 100名程度(定員になり次第、締め切らせていただきます)
- ◆申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ◆その他
 - ①お申込み受付後、受講者証を送付致しますので、当日ご持参ください。
(経済調査会より発行いたします)
 - ②筆記用具をお持ちください。
 - ③テキストは当日配布いたします。
 - ④当講習会はCPDSの学習履歴申請を当会が行います。当日、講習会会場にてカードリーダーによる申請を致しますので、認定のCPDS技術証をお持ちの方は、当日ご持参ください。
 - ⑤当日欠席の場合は後日テキスト等、資料一式送付いたします。※受講料、テキスト代の返却には応じかねますのでご了承ください。

会場案内図



■ 2019年7月23日(火)

(株)長水建設会館

長野県長野市岡田町124
TEL 026-227-6226

※駐車スペースに限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。
車でご来場される場合で、一社で複数名
ご参加される際は乗り合わせをお願いいたします。

※昼食の準備はございませんので
予めご用意ください。

講習会内容等のお問い合わせ先

〒105-0004
東京都港区新橋6-17-15
一般財団法人 経済調査会 第一業務室
TEL 03-5777-8222
FAX 03-5777-8237

【プログラム】 ◎受付開始 9:00より

時間	項目																																																			
9:30	開 会																																																			
9:30~16:30	<p>第1章 現場で使う工事測量技術</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 測量作業の心得</td> <td>2. 測量作業の基本</td> <td>3. ミスを防ぐ一工夫</td> </tr> <tr> <td>4. 水準測量のコツ</td> <td>5. 丁張の手順</td> <td>6. 測量の基礎知識</td> </tr> </table> <p>第2章 土留め工</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 土留め支保工</td> <td>2. N値と土質定数</td> <td>3. ボーリング柱状図の見方</td> </tr> <tr> <td>4. ボーリング</td> <td>5. パイピング</td> <td>6. ヒーピング</td> </tr> <tr> <td>7. 盤ぶくれ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第3章 土工事</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 盛土材料</td> <td>2. 土量変化</td> <td>3. マスカープ</td> </tr> <tr> <td>4. 土工機械の選定</td> <td>5. 土質と土質定数</td> <td>6. 土の締固め管理</td> </tr> <tr> <td>7. 切土工のポイント</td> <td>8. 盛土工のポイント</td> <td></td> </tr> </table> <p>第4章 軟弱地盤の工事</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 盛土載荷重工法</td> <td>2. 動態観測</td> <td>3. 軟弱地盤対策工</td> </tr> </table> <p>第5章 コンクリート工</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 鉄筋の管理</td> <td>2. 鉄筋の加工・組立</td> <td>3. 型枠・支保工</td> </tr> <tr> <td>4. 生コンクリートの受入れ</td> <td>5. 打設・締固め</td> <td>6. 養生</td> </tr> <tr> <td>7. 打継ぎ目</td> <td>8. トラブルにしない型枠・支保工</td> <td>9. 品質向上に向けた一工夫</td> </tr> </table> <p>第6章 場所打ち杭工</p> <table border="0"> <tr> <td>1. コンクリート</td> <td>2. 施工のポイント</td> <td>3. 品質向上に向けた一工夫</td> </tr> <tr> <td>4. 杭頭寸法不足に向けた対応</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第7章 施工管理</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 写真管理のポイント</td> <td>2. 出来形管理のポイント</td> <td>3. 工程管理のポイント</td> </tr> </table> <p>第8章 安全管理</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 安全管理の基本事項</td> <td>2. 現場の安全のための心得</td> <td>3. 仮設工の安全チェックポイント</td> </tr> <tr> <td>4. 施工における安全対策</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>質疑応答</p>	1. 測量作業の心得	2. 測量作業の基本	3. ミスを防ぐ一工夫	4. 水準測量のコツ	5. 丁張の手順	6. 測量の基礎知識	1. 土留め支保工	2. N値と土質定数	3. ボーリング柱状図の見方	4. ボーリング	5. パイピング	6. ヒーピング	7. 盤ぶくれ			1. 盛土材料	2. 土量変化	3. マスカープ	4. 土工機械の選定	5. 土質と土質定数	6. 土の締固め管理	7. 切土工のポイント	8. 盛土工のポイント		1. 盛土載荷重工法	2. 動態観測	3. 軟弱地盤対策工	1. 鉄筋の管理	2. 鉄筋の加工・組立	3. 型枠・支保工	4. 生コンクリートの受入れ	5. 打設・締固め	6. 養生	7. 打継ぎ目	8. トラブルにしない型枠・支保工	9. 品質向上に向けた一工夫	1. コンクリート	2. 施工のポイント	3. 品質向上に向けた一工夫	4. 杭頭寸法不足に向けた対応			1. 写真管理のポイント	2. 出来形管理のポイント	3. 工程管理のポイント	1. 安全管理の基本事項	2. 現場の安全のための心得	3. 仮設工の安全チェックポイント	4. 施工における安全対策		
1. 測量作業の心得	2. 測量作業の基本	3. ミスを防ぐ一工夫																																																		
4. 水準測量のコツ	5. 丁張の手順	6. 測量の基礎知識																																																		
1. 土留め支保工	2. N値と土質定数	3. ボーリング柱状図の見方																																																		
4. ボーリング	5. パイピング	6. ヒーピング																																																		
7. 盤ぶくれ																																																				
1. 盛土材料	2. 土量変化	3. マスカープ																																																		
4. 土工機械の選定	5. 土質と土質定数	6. 土の締固め管理																																																		
7. 切土工のポイント	8. 盛土工のポイント																																																			
1. 盛土載荷重工法	2. 動態観測	3. 軟弱地盤対策工																																																		
1. 鉄筋の管理	2. 鉄筋の加工・組立	3. 型枠・支保工																																																		
4. 生コンクリートの受入れ	5. 打設・締固め	6. 養生																																																		
7. 打継ぎ目	8. トラブルにしない型枠・支保工	9. 品質向上に向けた一工夫																																																		
1. コンクリート	2. 施工のポイント	3. 品質向上に向けた一工夫																																																		
4. 杭頭寸法不足に向けた対応																																																				
1. 写真管理のポイント	2. 出来形管理のポイント	3. 工程管理のポイント																																																		
1. 安全管理の基本事項	2. 現場の安全のための心得	3. 仮設工の安全チェックポイント																																																		
4. 施工における安全対策																																																				
16:30	閉 会																																																			

- ・講義の途中で適宜、休憩(昼休みを含む)を挟みます。

以下は、過去開催された講習会でいただいた主な意見を記載いたしました。
ご参加を検討いただく場合のご参考にしてください。

- ・説明が分かりやすく、大変良かった。また、昔を思い出しました。
- ・作業の細かい見直しやそのための知識を得られた。
- ・若手技術者の指導に参考になる点が多く、有意義でした。
- ・土木技術者としては、この様な「今更聞けない」内容を繰り返し学ぶ事も重要と思います。
- ・自分も、まだ50代なので、悔いのない人生にしたいと思っています。
- ・自分の知識を、改めて振り返るよい機会になりました。また、新しい発見もあり、参考になりました。技術力と経験の継承が問題となっている昨今、考えさせられる講義でした。
- ・土木業界と日本のインフラに対する思いが伝わる良い講師だと感じました。内容も今後の日本を作っていくために欠かせない高品質なインフラを目指すために必要なことばかりだと思えます。
- ・土木未経験で、仕事を始めて2ヶ月経ちましたが、毎日先輩たちに言われるまま動いて、何事を覚える間もなく1日が過ぎていく毎日でした。明日から、今日身につけた知識をもって目標に向かって進んで行きます。
- ・設計担当の為、現場の知識を分かりやすく説明していた。
- ・測量はバッチリだと思っていたが、意外と気がついていない点があった。
- ・今の社内の状況などを改めて考えさせられた。今若い人がどの様に成長するのかは社内の状況によってなんだと考えさせられた。
- ・実施工で役立つ事項(山留、コンクリートなど)を扱ってくださったので、受講できてうれしかったです。先生の人生観も興味深かったです。
- ・土木技術者としての心得は、なかなか会社では教えたりしないと思うので、非常に良いと思いました。新入社員に聞かせてやりたいと思います。
- ・コンクリート構造物の構築に関して、知ってはいるが、改めて確認する事ができた。

【テキストのご案内】 使用テキスト「建設技術者のための現場必携手帳」



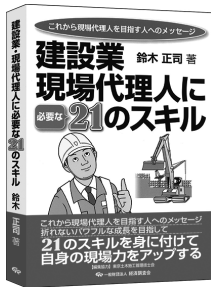
鈴木正司 著 B6判変形 216頁
定価 2,916円 → 特別価格 2,900円

◆現場で活かす管理とスキル

<主要目次>

- | | |
|-----------------|-------------|
| 第1章：現場で行う工事測量技術 | 第5章：コンクリート工 |
| 第2章：土留め工 | 第6章：場所打ち杭 |
| 第3章：土工事 | 第7章：施工管理 |
| 第4章：軟弱地盤の工事 | 第8章：安全管理 |

【関連図書のご案内】



鈴木正司 著 A5版 212頁
定価 2,581円 → 特別価格 2,400円

「建設業現場代理人に必要な21のスキル」

◆総合的な現場力アップを目指す人への待望の指南書

<主要目次>

- 第1章：現場代理人に必要な7のスキル
- ・現場を自分の思い通りに管理するスキル
 - ・現場の問題点を予測するスキル
 - ・問題解決の順序を決めるスキル
- 第2章：上手に現場を運営する7のスキル
- 第3章：現場を把握して利益を確保するための7のスキル



鈴木正司 著 A5版 300頁
定価 2,900円 → 特別価格 2,700円

「建設業・担い手育成のための技術継承」

<主要目次>

- 第1章：間違いない現場工事測量スキル
- 第2章：おろそかにしない基礎スキル(盛土・切土・軟弱地盤)
- 第3章：不安全にしない仮設土留工の管理スキル
- 第4章：出来栄の良い耐久性のある構造物を構築する管理スキル
- 第5章：場所打ち杭のトラブルを防止する管理スキル

講師経歴紹介

坂田建設株式会社 取締役 土木本部長

鈴木正司

東京都立大学工学部土木工学科卒業
 京都大学大学院工学研究科土木システム工学専攻博士課程修了
 京都大学博士(工学), 技術士(建設部門), 1級土木施工管理技士, 1級建築施工管理技士,
 1級電気工事施工管理技士, コンクリート診断士, コンクリート技士, 測量士, 宅地建物取引主任者合格など多数

主な経歴

1. 昭和51年～平成3年 工事管理に従事(高速道路建設8工事, 建設省3工事)
昭和63年建設省関東地方建設局長表彰
2. 平成3年～平成11年 技術課にて設計変更及び問題解決業務に従事
3. 平成9年～平成12年 京都大学大学院工学研究科博士課程
4. 平成11年～平成18年 土木工事部長
5. 平成18年～平成24年 土木本部 技術部長
6. 平成24年～平成25年 土木本部 土木統括部長
7. 平成25年～平成27年 土木本部 副本部長 兼 土木統括部長
8. 平成27年～平成28年 土木本部長
9. 平成28年～ 土木本部長兼東京支店長

主な研究

京都大学大学院複合構造デザイン研究室 ES工法の法面防護と景観保全に関する研究 (学位取得論文)
 京都大学大学院複合構造デザイン研究室 木造軸組の耐震補強工法に関する研究
 京都大学大学院複合構造デザイン研究室 バーコードを使用した土運搬管理及び工事施工体制管理に関する研究

※ご加盟の協会等がありましたら下記にご記入ください。

所属協会名	
-------	--

一般財団法人 経済調査会 行 申込日： 月 日

FAX : 03-5777-8237

下記内容をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

お問い合わせ TEL : 03-5777-8222

「建設技術者のための現場必携手帳」解説講習会 受講申込書 (7/23 長野市開催)

官公庁名・会社名 (フリガナ)	所属部課名	連絡担当者名
所在地 〒		TEL () - FAX () - e-mail

参加者

所属部課	氏名 (フリガナ)
① 課	
② 課	
③ 課	
④ 課	
⑤ 課	

◎ 受講料 1名 8,000円 (税込) × ____ 名 = ㊦ _____ 円

◎ テキスト申込
「建設技術者のための現場必携手帳」 1冊 2,900円 (税込) × ____ 冊 = ㊧ _____ 円

◎ 関連図書申込
「建設業現場代理人に必要な21のスキル」 1冊 2,400円 (税込) × ____ 冊 = ㊨ _____ 円

「建設業・担い手育成のための技術継承」 1冊 2,700円 (税込) × ____ 冊 = ㊩ _____ 円

※関連図書は当講習会のテキストではありません。

合計 ㊦+㊧+㊨+㊩= _____ 円

【お支払い方法について】 ※当日は受付が混雑いたしますので、現金でのお支払いはご遠慮ください。本申込書をFAXの後、下記口座にお振り込みください。

・ ____ 月 ____ 日に【① 銀行 ・ ② 郵便局】に振り込みます。(どちらかに○をつけてください)

・ 長野県建設業協会、または、長野県土木施工管理技士会の会員ですか[① 会員 ② 非会員] (どちらかに○をつけてください)

振込先	① 銀行 三井住友銀行 銀座支店 当座 No.0226026 口座名義：一般財団法人 経済調査会 一般会計	② 郵便局 東京 00160-9-79994 口座名義：一般財団法人 経済調査会 一般会計口
-----	--	---

・ 必要書類があれば送付いたしますのでご記入ください。

a. 見積書 _____ 枚 b. 請求書 _____ 枚 c. その他 ()

※ 受講せずに、テキストのみ購入申込の方へ

この場合、通常の本籍ご注文として手配します。講習会同様FAXにてお申し込みください。

図書は請求書を同封して送付いたしますので到着後にお振込みください。

《書籍申込書》	建設技術者のための現場必携手帳	特別価格	2,900円	× ____ 冊
	建設業現場代理人に必要な21のスキル	特別価格	2,400円	× ____ 冊
	建設業・担い手育成のための技術継承	特別価格	2,700円	× ____ 冊
		送料	450円	
		計		_____ 円
《通信欄》				HP

※ご記入いただきましたお名前、ご住所等は、今後、経済調査会発行の雑誌・書籍・電子媒体及び講習会等のご案内に使用させていただく場合がありますのでご了承ください。なお、送本等の一部業務は、守秘義務を含む業務契約を締結した協力会社に委託することがあります。

現場で見られる
手帳サイズ!!

現場で活かす管理とスキル

平成29年
6月発刊



建設技術者のための 現場必携手帳

鈴木 正司 著 【発行】一般財団法人 経済調査会

◆現場で見やすい図表を中心に構成

◆PC、タブレット端末およびスマートフォン等で閲覧できる
電子書籍版の無料閲覧サービス付

B6判変形 216頁 [撥水加工]
定価2,916円(本体2,700円+税)

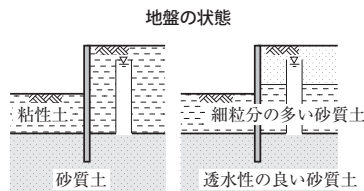
内容見本

第2章 土留め工

7 盤ぶくれ

(1) 「盤ぶくれ」とは？

- 粘性土層と砂層の互層で発生する土留め工内の地盤に上向き水圧が作用し、土の重さ以上となると、掘削底面が浮き上がり土留め工が崩壊する



掘削底面付近が難透水層、水圧の高い透水層の順で構成されている場合、難透水層には粘性土だけでなく細粒分の多い砂質土も含まれる

視準、測定を開始する合図

両手を上げて左右に振りながら大きな声で「開始します」または「始めます」と合図を送る



開始します
または
始めます

機器を扱う者

- トータルステーションもレベルも開始と終了は同じ合図で行う！

視準、測定を終了する合図

片手を上げて数回まわしながら大きな声で「OK」または「オーライ」と測量手元に合図を送る



機器を扱う者

(3) 利き目で視準する

- 測量機器を自然と覗いている目が利き目です

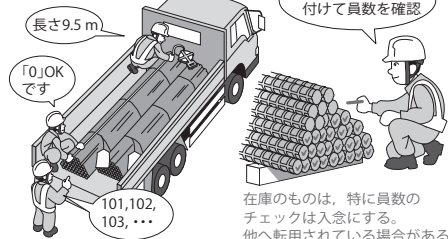
■利き目の確認方法

第5章 コンクリート工

(2) 径と長さと言数の確認

- ラベルに記載されている径と長さと言数に誤りはないか、必ず確認 (言数：当該現場での注文数)

ラベルに記載された言数と長さを確認する

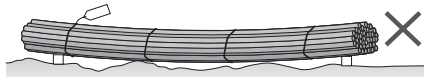


在庫のものは、特に言数のチェックは入念にする。他へ転用されている場合がある

(3) 野外保管の注意点

- 野外に鉄筋を保管する場合は、鉄筋の品質を低下させないために、細心の注意を払う

鉄筋の保管をしっかりと行う



第8章 安全管理

(4) バックホウによる吊上げ作業

- バックホウを主たる用途 (掘削) 以外の用途に用いてはならない。ただし、以下の条件が満たされる場合、吊上げ作業での使用が認められる。

